

# Kyu-Suzu-Report

<九スズ・レポート>

Kyushu Suzuki Ensemble Official Newspaper

発行 九州スズキアンサンブル  
編集 九レボ編集部  
連絡先 093-952-2372  
2019・10・20  
第39号 (不定期発行)



## 祝 25 周年 第 9 回定期演奏会開催！

九州スズキアンサンブル第9回定期演奏会が9月23日、福岡市博多市民センターにて開催されました。

団結成25周年の節目での開催となった今回。

名曲にして、難曲。ヴィヴァルディ「四季」全曲をメインプログラムに据えて、メンバー一体となって果敢に挑みました！！

(写真：台風の影響も心配されましたが、当日は多くのお客様に足をお運び頂き、メンバーも気合満点の演奏を披露！！)

<写真下段左から>「四季」のソリストを担当された森尾来羽さん、天野直さん、沖田和代子さん、松本陽子さん)



ご来場頂いたお客様からお寄せ頂いた「声」(アンケート)から、各プログラム、その様子をご紹介します。

### ①鈴木鎮一／弦楽アンサンブルのためのワルツ 二短調

「古き良き、ヨーロッパの舞踏会が蘇るような素敵な響きでした。」

### ②ロッシェーニ／弦楽のためのソナタ 第1番 ト長調

「今まで聴いた事の無い曲でしたからとても新鮮で、まるでディズニー映画のBGMの様に楽しかったです。」

### ③ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲「四季」

<春>

「明るく弾む春を表現されていて、聴いていてワクワクしました。」

「美しい音色。特にソリストの透明感ある演奏が素敵でした。」

<夏>

「情熱的で、ソリストの大人びた雰囲気と相まってスペイン舞踏の様な魅力を感じました。」

<秋>

「夏からの音色も(全体が)変わって、一人一人の音楽に対する想いが伝わった♥」

<冬>

「最後を締めくくるにふさわしい、素晴らしい演奏でした。」  
「緊張感のみなき冬の楽章をエレガントに、且つシャープに弾かれて、オーケストラとのハーモニーも見事でした。」



オープニングは定番の鈴木鎮一先生作曲「ワルツ」。OBOGの皆さんにもご参加頂き、心残る時間を一緒にさせて頂きました。



アンコールには「まるちゃん」も登場?!  
保護者スタッフ考案&手作りの温かい演出も交え、九スズらしい、笑顔一杯の中でのフィナーレとなりました!!

その他、沢山の温かいお褒めのお言葉、激励のお言葉を頂戴致しました。お足元悪い中、ご来場頂きました皆様方、ご協力ご支援を賜りました諸先生方に改めまして、篤く御礼を申し上げます。